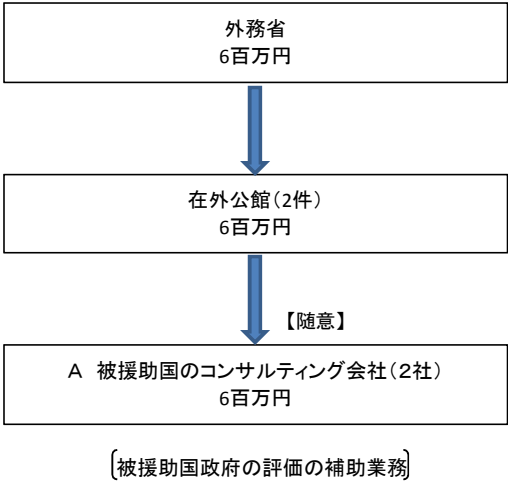


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	被援助国政府・機関による評価に必要な経費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始	担当課室	ODA評価室	室長 湊 直信				
会計区分	一般会計	施策名	VI-1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項	関係する計画、通知等	ODA改革・15の具体策、外務省改革「行動計画」、点検と改善2006					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被援助国側に我が国ODAの評価を依頼することにより、我が国ODAの公正さと透明性を確保するとともに、我が国ODAに対する被援助国側の理解の促進を図る。また、DAC開発評価ネットワークにおいても被援助国側の評価能力の向上に向けた取組が期待されており、我が国もかかる要請に応え、被援助国側のODA評価に関する意識の向上にも繋げていくもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被援助国政府・機関による評価は、「ODA改革・15の具体策」や外務省改革の「行動計画」、「点検と改善2006」において「被援助国政府・機関による評価」の拡充に努めることが謳われたことを受けて実施しているもので、自ら相応の評価実施能力を有する被援助国政府・機関やコンサルタント、シンクタンク、学術・研究機関等が特定分野・テーマにかかる日本の援助の評価を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	8	7	6	5	2	
	執行額	6	5	6				
	執行率(%)	78.0	70.8	93.2				
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
【成果目標】年2件の評価実施(平成22年度はセネガル及びバングラデシュ)を通じて、我が国ODAの説明責任を果たすとともに、被援助国の評価能力向上に貢献する		ODA評価のHPアクセス数	千件	3,254	5,028	4,422	4,725	
【成果実績】国民の外務省HP(ODA評価)アクセス数		対前年度比	%	16.5	54.5	▲12.1		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	毎年、被援助国に対して実施する要望調査に基づき2カ国(各1件)程度を選定して、我が国ODAにかかる被援助国側からの評価を実施する。		活動実績 (当初見込み)	実施件数	3 (3)	2 (3)	2 (2)	— (2)
単位当たりコスト	被援助国政府・機関による評価業務 (約292万円/1件・1か国)		算出根拠	計2件(2か国)実施、総計5,839千円の支出(平成22年度実績)				
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	4,623	2,182	事業見直しによる減額				
	計	4,623	2,182					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・在外公館が随意契約により実施業者を選定しているが、実施に際しては、在外公館が実施のフォローに当たる他、成果物として評価調査報告書を提出させ、案件実施内容をチェックしている。また、送金前にプロポーザル及び積算の精査を本省で行い、精算時には在外公館が証拠書等詳細をチェックしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	プロポーザル及び積算の事前精査及び精算時の証拠書等のチェックを徹底し、引き続き予算の効率的執行に努める。特に平成24年度からは1件のみ実施する方向で予算要求しており、実施地域・分野を戦略的に選定し、より大きなインパクトがもたらされるよう留意する。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業見直しによる減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直しによる減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外部委託	コンサルティング会社				
	人件費	評価専門家2名	3.0			
	交通費	車両借上費、燃料費	0.3			
	宿泊費	コンサルタント2名	0.2			
	雑費	事務所費、電話代等	0.5			
	計		4	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		2	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	コンサルティング会社(セネガル):EMAP社	セネガル水分野における我が国ODAの過去10年間の評価	4	随意契約	
2	コンサルティング会社(バングラデシュ):IIFC	過去10年間の我が国の対バングラデシュ円借款による運輸インフラ案件に関する評価	2	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					